

### 津田支部の紹介

支会長 大江長夫

さぬき市文化協会が設立され一年半が過ぎようとしています。私たち津田支部は「さぬき」は一つを基本にすえ、これまで通り伝統的文化を継承しながら新しい文化を創造し、文化活動を発展させなければなりません。そのためさぬき市文化協会の部門別組織が編成され活動されています。

津田支部の皆さんも、その輪の中に積極的に参加し、他支部の人達と交流を深めることにより、今までと違った角度から一層の活性化に役立ちレベルの向上につなげ、心の豊かな人生を過ごしたいものです。

#### 平成十五年支部活動おももの ① 一日視察研修

六月二十八日(土) 実施



因島フラワーセンターでは配色の美、花壇配置の美を堪能、平山郁夫美術館では世界一流の日本画に接しその素晴らしさに時を忘れたような気がします。一流を観ることにより参加者それぞれに感



性を磨いていただいたものと思います。今後も日本伝統の美を求め感性を磨きたいと思っています。  
② 市民文化祭津田まち祭  
十一月十五日(土)十六日(日)に津田まち祭が開催されました。講座生及び個人学習で磨いたものを一同に集めた展示会、芸能発表会でその成果を発表する場として開催しております。  
今年支部内交流として志度支部より参加をいただきました。津田支部は寒川支部へ参加を致しました。

皆様方の中には習いたいものもあるかと思えます。勇気を持って講座に飛び込んでみませんか。新しい道が開かれ今までと違った人生が歩めると思います。文化協会皆様様の参加をお待ちしております。



盆栽への想 山田 寛

私は盆栽を始めて十年になります。今や日本の盆栽から世界のBONSAIへと輪を広げております。中国を起源として日本には平安から鎌倉時代に伝わって来たといわれております。

以後、幾度かのブームがあり、日本独自の文化として成長してきました。今の津田では盆栽教室として「働く婦人の家」で月に一回開いています。また、津田の盆栽グループは東讃国風小品盆栽会の津田支部でもあります。発表の場は津田地区文化祭として志度地区の方々の小品盆栽が飾られて大変見栄えのする展示となりました。さぬき市として今年度、十一月二十九日から三十日に文化協会生活文化園芸盆栽部門の展示会が大川公民館で行われ、サツキ、普通盆栽、山野草、小品盆栽等市内の各グループから多数の出品で大変にぎやかでした。今後、さぬき市として独自の発表を期待したいものです。

### 絵手紙「あじさい」

北島美千代

「ヘタでいい。ヘタがいい。」絵手紙の創始者である小池邦夫先生の言葉です。この言葉につられて絵手紙を始め、その魅力のとりこになった愛好者は、今や全国で百万人とも言われています。

絵は苦手だと思っていた人が、一生懸命心を込めて描くことで、受け取った人に喜んでいただける、心にひびく言葉が感動を与える、それが絵手紙の魅力だと思います。  
「絵手紙サークル「あじさい」」は、スタートして三年目、毎月第一水曜日に津田公民館で活動しています。  
「和気あいあいとおしゃべりしながら、自分らしさを表現することを追求しています。」  
誰でも気軽に始められる絵手紙を通して、楽しく仲間作りをしてみませんか。



### 舞扇に夢をのせて

和田松栄

日舞民踊の同好会を初めてから三十年余りになります。昨年八月、津田民踊同好会「さぬき民踊まつり」三十周年記念連続三十回出演三団体の一団でありました。一口に三十年といっても長い道のりでもありました。一足一振りに心をこめてお稽古の積み重ねです。舞台上上がる度に緊張して失敗したり胸がドキドキ、感動と充実感を味わいながらふと気がつくとも三十余年の歳月が過ぎておりました。この度、さぬき市となり部門別の第一回の舞踊部の発表会が昨年六月に五つの町から出演され盛大に終ることが出来ました。本当に踊りが好きで忙しくても時間を作って集まって来ます。上達は続けること、おごり高ぶらず、技を磨き心を養いながら踊りを通して人々の支えとなり生きる喜びを分かち合いたいと思います。家庭の理解と協力に感謝し、お互いの和を大切にしながら舞扇に夢をのせて踊り続けてまいります。



### 琴伝流大正琴の仲間

猪塚和子

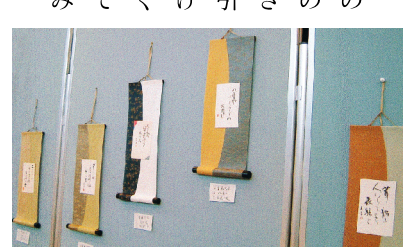
私達琴松会は、早くにはじめた人は昭和の終りから、新しい人は平成になってから、ずいぶん長く続いたものだと感じるとともに、これはやはり大正琴のあの音色にひかれ大正琴が好きなのだと思っております。仲間はずっと、変わってはいきません。けれど、いつまでも続いています。弾く曲は私達の一生そのものです。幼い頃に歌った童謡から、多感な青春時代にはやった流行歌、戦後に聞いたクラシック、そして演歌、ポピュラーと、時代と共に幅広いジャンルの曲を練習できる喜びがあります。今は発表の場も、地元での文化祭はもとより、施設への慰問全国大会、西日本大会、四国大会、香川県大会と数多くあり、仲間を増やし、生活のうるおい、そして生き甲斐ともなっているのです。考えて見れば、大正琴があればこそ、全国に仲間がたくさん増えたのだと、喜んでいきます。



### 青風句会のこと

松下寿子

どうみても新人とはいえぬ齢で入会させて頂き、三年が近づいて居ります。会の代表の飯田和子さんを中心に八名、月一回の句会を開き、他県の方とも交流、全員俳句誌にも投稿して楽しんでいたり苦勞したり。感性鋭い若い方の中で、ほど良い緊張と刺激を受け、錆び始めた心と頭に温かな血が流れる一刻を有難く思っております。しかし、まだ、俳句の端緒も掴んでおらず「季語受信の感性」「写生文学」等、すべて自分流に解釈、納得の句作です。抜群の実力を持つ飯田、笠井幸代の両氏を擁し、たった一字でころりと句の大きさが変わる五、七、五のリズムの妖しい魅力に引かれ、日常生活の中の自分らしい句をと心がけております。一日でも早く句作りを勧めたくださった飯田先生の言葉が心に沁みここの頃です。今に皆さんを唸らせる良い句を秘かに望みをかけて学んでまいります。



### 音楽部門

部長 松村善行

さぬき市が誕生してはや一年余りになりましたが、さぬき市文化協会もその後発足いたしました。さてさぬき市文化協会の音楽部門も旧五町がいつしよになりました。そこで昨年音楽部門で各団体間の交流を深め広めようと言う主旨のもと全体会が開かれました。当音楽部門は七部に分かれて活動しています。これからも各部共、より一層交流を深めて頂きたいと思えます。さて、当音楽部門の七部です

- (1) 太鼓銭太鼓
- (2) 大正琴
- (3) 詩吟
- (4) 琴・三味線・尺八・民謡
- (5) 合唱
- (6) カラオケ
- (7) 吹奏楽

以上に分かれております。

今回その中の太鼓銭太鼓、琴・三味線・尺八・民謡、カラオケ、の三部を紹介したいと思います。

#### (1) 太鼓銭太鼓

松村善行

私達太鼓銭太鼓の部はさぬき市が誕生して以来いち早く会を作ろうと仲間を集め話し合いま

て五月二十五日、皆さんのおかげで、さぬき市太鼓クラブ連合会を発足致しました。そしてその日の内に「第一回さぬき市太鼓銭太鼓フェスティバル」を志度音楽ホールに於て開催致しました。予想以上に大盛況でした。

このフェスティバルは毎年旧五町の会場を廻って開催する様にしております。今年第二回フェスティバルを五月に津田町の会場で開催致します。会員皆で成功する様がんばりたいと思えます。以上のようにこれからもさぬき市太鼓クラブ連合会が大いに発展する様みんなで努力してがんばっていきたくと思えます。

また、他の部共交流を深めたいと思えます。これからもより一層楽しい会にしていきたいと思えますので御協力をお願い致します。

#### (4) 琴・三味線・尺八・民謡

木村繁夫

さぬき市文化協会加盟団体部門別で音楽部門の団体のうち筆の志度豊友会、尺八の長尾尺八同好会と津田尺八同好会、三味線の太川三味線クラブと長尾太棒三味線舞会、民謡は志度民謡同好会の六団体総勢八十二名でさぬき市文化協会古典音楽部会を発足致しました。

学校教育においても小学校から、尺八等古典音楽が見直されて来ましたが、私達古典音楽部も学生を含む会員の第一回発表会を次の通り実施致します。

日時 平成16年2月29日(日)

午後一時三十分～午後三時三十分まで

場所 志度音楽ホール

入場料 無料

#### (6) カラオケ

刈崎周一

平成十六年の新しい年を迎えて歌謡協会も結成以来十八年が過ぎました。さぬき市の合併に伴い、いち早くさぬき市歌謡協会として発足現在に至っております。協会の年中行事としては年一回音楽ホールに於て文化協会音楽部門との共催に依りチャリティカラオケ発表会を実施いたしております。昨年は十月五日(日)に行ない募金の一部を多少ですが社協に寄付させていただきました。これからもずっと続けて行きたいと考えております。それ以外の活動としては各同好会の会場に於て年五回の定例発表会を行っております。なごやかな発表会の風景を見るときにはカラオケ家族とでも言った方が適切な言葉かも知れぬ。会員皆さんこれからも演歌の素晴らしさを歌い続け、今後とも明るく愉快に歌を通して巾広く輪を広げ、明るい街づくりに貢献をしてゆこうではありませんか。